

主に関係する 領域・教科	保健体育	氏名：宮下 翼
教材・教具名	卓球・サーブ練習用的	
ねらい	サーブ練習で狙った方向に打てるようにする。	

教材教具の説明

生徒同士でラリーや試合をするためにはサーブを打つことが必要になってくる。生徒全員がサーブを打てるように練習用の的を制作した。意欲的にサーブ練習に参加できると狙った方向にサーブを打てるようになることが期待できる。

通常卓球 (得点 50 点、25 点、10 点 二つずつ)



机と板

段ボール

裏側



マジックテープ

床卓球 (得点 50 点、25 点、10 点 二つずつ)



段ボール

裏側



滑り止めマット

ゴロ卓球 (得点 50 点、25 点 二つずつ 10 点一つ)



かご



マジックテープ

制作のポイント	使用材料・部品
<p>(通常卓球)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツーバウンド、ゴロになっても入るようにコートとの段差をなくして入りやすい様にした。コートの高さ75センチ、机60センチ、的の前方の高さ15センチ。しかし、板をつけたら2～3cmほど高くなってしまった。 ・ 机の上に置くときに的を板の上にマジックテープで固定して動かない様にした。それによって運びやすくなった。 ・ なるべくバウンドで超えないようにしののの後方を高くした。 ・ 板がずれないように滑り止めマットをつけた。 <p>(床卓球)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コートの横を全ての的で埋まるようにした。 ・ 入りやすい様に的の前方の高さを低くした。 ・ 段ボールなので動かないように裏に滑り止めマットをつけた。 <p>(ゴロ卓球)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隙間を狭くして、転がせば入るようにした。 ・ 得点ごとにかごの色を分けた。 ・ ピンポン玉が入る軽いかごにマジックテープを貼って台に直接くっつけられるようにした。 	<p>段ボール(二種類) 100均のかご 板 滑り止めマット マジックテープ</p>

<p>実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーブ練習の際に的をめがけてサーブを打った。 ・ 3球サーブを打って、他の生徒と得点を競った。 <p>(ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しくサーブを打って的に入れば書いてある得点が獲得できる。 ・ 的に入らなかったが正しくサーブが打っている場合は5点獲得できる。 ・ 的に入ったが正しくサーブを打てなかった場合は得点を0点とした。
<p>効果・改善点等</p>	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的にサーブ練習する姿が見られた。 ・ 50点やキャラクターを狙ってサーブを打つ姿が見られた。 ・ 得点が当たると喜ぶ姿や外した時に悔しがる姿がみられた。 <p>(改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 的に入れる事だけを考えて、正規サーブを打たず簡単サーブで的に狙う生徒もいたため、的にだけではなくサーブの種類によっても得点の差をつけるなどの工夫が必要である。 ・ 的にの上を越えてしまうことやコートのサイドに落ちてしまうことがあったので的に入るような工夫をしなければいけない。 ・ 得点のバリエーションや的にの大小などがあればより楽しめる生徒も出てきたのではないかと感じた。

*2 ページ以上になってもかまいません。